

砂の壁を越えて 私たちは必ず還る 故郷 西サハラへ  
その明日を 私たちは決して手放さない!

# 西サハラ

## 祖国という尊厳を求めて



### ファトマ・ブラーヒームさん講演会

11月4日(土) 13:00 - 16:45 (12:30 開場)

京都大学 吉田南キャンパス 吉田南総合館南棟 地下 共南01教室

◇入場無料◇ 英語(日本語通訳あり)

祖国西サハラを追われたサハラウィの難民生活は、間もなく半世紀を迎えます。帰還を求めて、「砂漠の中の砂漠」と呼ばれるアルジェリアの難民キャンプにとどまり、闘い続ける彼らの、その抵抗の生を支える力の源とは何か? そして、人間にとって祖国とは? ティンドウーフ難民キャンプから若い世代を代表して来日されるファトマ・ブラーヒームさんにご講演いただきます。講演に先立ち、難民キャンプやモロッコ占領下におけるサハラウィの若者による、さまざまな抵抗の形を描いたドキュメンタリー映画「Life is Waiting」を上映します。

#### 西サハラとは

〈アフリカ最後の植民地〉西サハラは1975年、スペインからの独立過程でモロッコに侵略され、以来その80%が占領下に置かれている。1991年、国連が住民投票の実施を決めるも、モロッコのサボタージュと国の思惑により実現

していない。アルジェリアの難民キャンプに拠点を置くサハラウィ(西サハラの人々)は「サハラ・アラブ民主共和国」の樹立を宣言、モロッコ占領下のサハラウィは激しい弾圧に対し非暴力の抵抗を続ける。難民キャンプには約17万人が暮らし、解放された祖国に帰れる日を待ち望んでいる。

ファトマ・ブラーヒームさん アルジェリア・ティンドウーフのサハラウィ難民キャンプで生まれ育つ。オラン第一大学卒業、同大学院修士課程修了(視聴覚学専攻)。難民キャンプでイタリアの開発NGOに勤めながら、UESARIO(西サハラ学生連合)外交委員会アフリカ担当として活動。モロッコが築いた分離壁「砂の壁」に抗議する「壁に向かって叫ぶ」のメンバー。アラビア語、スペイン語、英語が堪能。好きなことは読書、外国語、旅行。

#### プログラム

- 13:00 主催者挨拶 岡真理(早稲田大学)
- 13:10 西サハラ問題概要説明
- 13:25 映画 Life is Waiting 上映
- 14:30 休憩
- 14:45 ファトマさん講演
- 15:45 パネルディスカッション  
松野明久(大阪大学名誉教授)/SHIRORU/岡真理
- 16:45 終了予定



砂漠の難民キャンプから今 私たちに届けられる声

主催: 科学研究費補助金基盤研究(A)「トランスナショナル時代の「祖国」と人間の関係性をめぐる人文学的・領域横断的研究」  
(代表: 岡真理)

協力: SHIRORU西サハラ企画班 / 西サハラ友の会

問合せ: projectwatan3@gmail.com